

| | | | |
|----|--|---|-------------------|
| 1 | 表題(課題)名 | 塗膜除去工施工時の安全管理 | |
| 2 | 工事(業務)名 | R3八ツ口大橋塗替塗装工事 | |
| 3 | 受注者名 | 株式会社レックス | |
| 4 | 工期 | 令和4年4月20日～令和4年12月19日 | |
| 5 | 担当技術者(立場)名 | 監理技術者 | (やざわ じゅん) 矢澤 純 |
| 6 | 担当主任監督(調査)員 | 新発田維持出張所長 | |
| 7 | 課題区分名 | ⑥安全管理 () | |
| 8 | 工事(業務)概要 | 岩船郡関川村八ツ口地先、国道113号線八ツ口大橋(下部)の塗替塗装を施工した。 | |
| 9 | 【施工における 課題・問題点 等】 | | |
| | <p>塗膜除去工施工中の事故が多く発生し、熱中症のリスクが高い時期での施工となり安全に塗膜除去工を完了させることが課題となった。</p> | | |
| 10 | 【実施内容】 | | |
| | <p>当現場の特記仕様書 第64条には『土木鋼構造用塗膜剥離剤技術』より剥離剤の選定を行う旨が記載されていることから、記載されている10種類の剥離剤の中から、安全性や臭気を考慮し選定を行い、アルコール系等の溶剤の含まれるものは候補から除外し溶剤中毒を防ぐこととし、水系かつ臭気も比較的少なく経済的にも優れている剥離剤を選定した。</p> <p>施工中は、工程の都合上で1番熱中症のリスクが高い時期に施工しなければならなくなってしまうことから作業員にクーレット(個人冷却器)を装着させることにより、不織布製作業服の中に冷えた空気を常に送り密閉された不織布製作業服の中を冷やし体温の上昇を防ぎ熱中症対策を行った。</p> <p>また、剥離剤は一斗缶に入った状態で納品されてくるが今回の作業にあたり150缶以上の一斗缶が納品された。現場に運搬する際に、車両に積込・現場内での移動はかなりの重労働になることから介護施設等でも使用されている、マッスルスーツを作業員に着用させ積込や現場内での一斗缶の移動に使用した。</p> | | |
| 11 | 【実施結果】 | | |
| | <p>剥離剤の検討を行ったことにより塗膜除去工施工中の中毒等は発生しなかった。</p> <p>1番の懸念事項とされていた熱中症もクーレット(個人冷却器)の使用により当現場では1人も熱中症の発症は無かった。暑さによる作業量の低下も考えられていたが不織布製作業服の中を涼しい状態に保てたため作業量の低下もなく無事に作業を終えることができた。</p> <p>マッスルスーツを使用した作業員からは「中腰から一斗缶を持ち上げる際に楽に持ち上げることができた。」との声が聞かれ腰痛予防や疲労軽減につながった。</p> | | |

(様式—2)

【実施内容等】



クーレット取付状況



クーレット使用中の作業状況



クーレット使用中の作業状況



マッスルスーツ使用状況